

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 佐藤 四郎

新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍を乗り越え平常を取り戻し、令和6年の新春を穏やかに
かにお迎えの事とお慶び申し上げます。



昨年は異常気象の年でした。夏は酷暑が続き秋になっても100年振りの夏が続いており、世界中で異常な気象状況が発生しております。地球温暖化現象であり待ったなしの脱CO2対策を実施しなければいけないと思います。2050年CN（カーボンニュートラル）達成に向け全ての業界が努力する必要があります。SDGsによる持続可能な取り組みも必要でしょう。次の世代に正常な気象状況を渡すために今私たちが行う必要があると思います。

一方日本に於いては過度の円安が進み輸入品コストアップにより食料品の値上げや電気・ガス料金、ガソリン代の高止まりは常態化し、家計は細る一方です。暮らしを守るにはこれ以上の円安は許されません。日米の金利差縮小に向けた金融政策の修正は「物価の番人」である日銀の責務とも言えます。日銀は緩和策の修正を模索し続けることになるでしょう。

また一昨年のご挨拶の中でも記述しましたが、やはり大谷翔平選手と藤井聡太さんが話題の中心でしょう。先ず大谷選手ですがMLBで投打の二刀流で活躍し、2度目の満票でのMVP受賞となりました。アジア出身の選手として初のホームラン王を獲得しピッチャーとしても10勝を挙げ大リーグ史上初となる2年連続での「二桁勝利・二桁ホームラン」を達成しました。シーズン終盤は右ひじと脇腹のケガで1か月近く欠場を余儀なくされましたが、それまでの投打の圧倒的なパフォーマンスが評価された形で、また新たに大リーグの歴史にその名を刻みました。そして藤井聡太さんです。史上初となるタイトル全八冠の独占を成し遂げました。2016年史上最年少の14歳でプロ棋士となり、それからわずか7年で棋界の頂点に立ちました。数々の新記録を更新し続け、前人未到の歴史的快挙を達成しました。分野は違いますが、既成概念を覆す活躍や、人の心にさわやかな風を送り込んだという点では「二刀流」で前代未聞の快挙を重ね続ける大谷選手と重なるところが有るように思われます。

最後になりますが皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。